

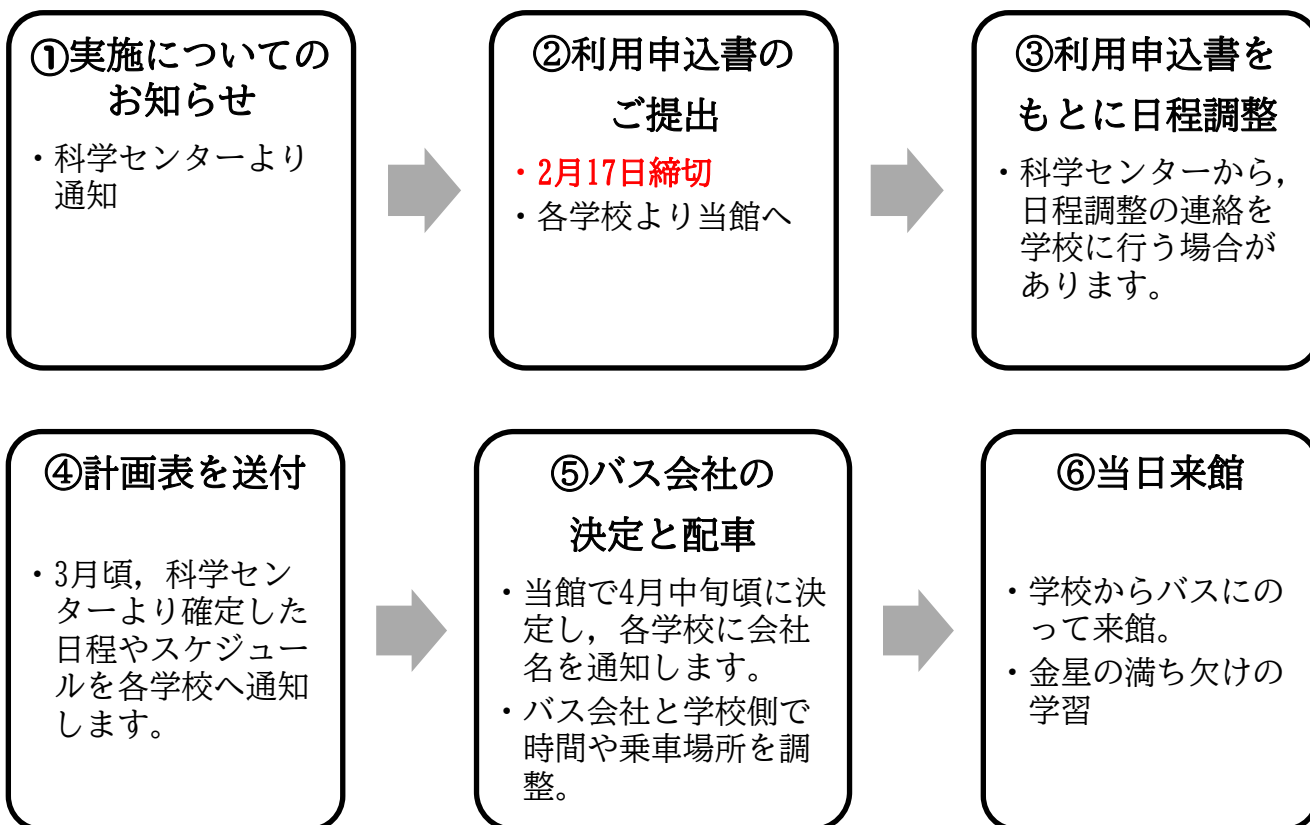
## 令和7年度 科学センター理科学習（中学校）の実施について

本年度の実施同様、市内の全中学校（3年生のみ）を対象に科学センター理科学習を行います。生徒の移動手段については市教育委員会（科学センター）でバスの利用料が予算化されています。学習テーマは中学校3年生「金星の満ち欠け」に特化し、当館の強みでもある大型天体望遠鏡などを利用した観察や実験を軸とした学習を行う予定です（概要については下記参照）。また、金星の見える時間帯が変化するため、来年度は4月末～10月の実施を予定しております。（次年度、その他の期間は金星の観察が難しいです。）つきましては、日程調整に関する希望調査を合わせて各中学校に文書にて通知させていただきますので、皆様のご協力のほど何卒宜しくお願い致します。

### 概 要

1. 実施時期： 令和7年4月末～令和7年10月（梅雨期，夏休みを除く）
2. 実施時間： ① 4月28日(月)～6月20日(金) ……午前のみの実施となります。  
② 7月7日(月)～7月18日(金) ……午前・午後とも実施可能です。  
③ 9月1日(月)～10月31日(金) ……午後のみの実施となります。  
午前：9:00～12:00の内100分程度 午後：13:30～15:30の内100分程度(予定)  
※あくまで予定ですので、学校側と相談の上多少時間を前後させることができます。  
※望遠鏡で金星の観察が行いやすい時間帯で、日程を組んでいます。  
※「科学センター理科学習（中学校）年間計画」より、実施時間を確認ください。
3. 日程調整： 「令和7年度科学センター理科学習（中学校）利用申込書」に実施希望日をご記入いただき、メールかFaxにて科学センターまでお送りください。  
締め切りは2月17日（月）です。  
※日程の希望が偏った場合、日程調整をさせていただきます。
4. 対 象： 阿南市内の全中学校 / 3年生（基本1クラスずつ）
5. 移動手段： バス / 教育委員会（科学センター）で予算化されます。  
※バスの配車や支払い手続きは、全て科学センター側で行います。
6. 内 容： 「金星の満ち欠け」
  - (1) 大型天体望遠鏡を使って、金星を観察し形のスケッチを行う。
  - (2) 金星の満ち欠けの仕組みについて、モデル実験装置を使って理解を深める。
  - (3) モデル実験を踏まえ、先に観察・スケッチした金星について、太陽・地球・金星がどのような位置関係のときに見えるのかを考える。
  - (4) まとめ

7. 実施までの流れ：



備 考

- 日程の希望が偏った場合は、日程調整のご連絡をする場合がございます。
- 生徒の人数が小規模の学校の場合、他校と合同実施のご相談をさせて頂く場合もございます。
- バス会社は科学センターにおいて、4月中旬頃に入札を経て決定されます。
- 警報発令などで、科学センター理科学習が中止になる場合、学校からバス会社へご連絡をお願い致します。併せて、科学センターには朝 8:30 以降にご連絡頂けますと幸いです。
- 日程が決定された後、行事予定の関係で日程変更が必要な場合や、やむを得ず学校間で予定を交換する場合は、科学センターまでご連絡ください。
- 令和7年度は時期が早いほど金星の欠けが大きく、学習に適しています。

4月28日で三日月型、6月1日で半月型、それ以降だんだん満ちていき、10月はほぼ丸にしか見えません。日程を決める際に参考にしてください。

阿南市科学センター

担当： 山田，堀  
電話： 0884-42-1600  
FAX： 0884-42-3652  
E-mail：[science@ananscience.jp](mailto:science@ananscience.jp) (代表)  
[education@ananscience.jp](mailto:education@ananscience.jp) (センター学習専用)